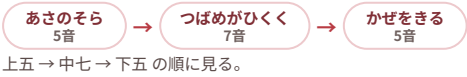


俳句の基本を整理しよう

名前： _____

図でわかる 俳句の4つの見方

① 五・七・五をたしかめる



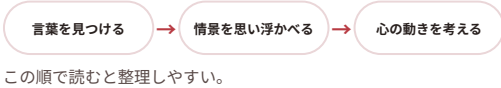
② 季語を見つける



③ 切れ字に注目する

菜の花や / 小道の先に / 白い雲
「や」で大きく切れ、菜の花が印象づけられる。

④ 鑑賞の手順



図解① 俳句とは

問1 上の図を見て答えなさい。

上の図の①を見て、「あさのそら／つばめがひくく／かぜをきる」は基本形の五七五になっていますか。

解答：なっている

補足：上五「あさのそら」は五音、中七「つばめがひくく」は七音、下五「かぜをきる」は五音。

図解② 季語

問2 上の図を見て答えなさい。

上の図の②を見て、「さくら散る／川辺を歩く／帰り道」の季語を抜き出しなさい。

解答：さくら

補足：「さくら」は春を表す代表的な季語。

図解③ 切れ字

問3 上の図を見て答えなさい。

上の図の③を見て、「菜の花や／小道の先に／白い雲」の切れ字を抜き出しなさい。

解答：や

補足：上五の終わりにある「や」が切れ字。

図解④ 鑑賞の手順

問4 上の図を見て答えなさい。

上の図の④を参考にして、「雪の朝／足あとひとつ／道つづく」から読み取れる情景として最も適切なものを選びなさい。

- ア 雪の朝、道に足あとが一つあり、その先に道が続いている
- イ 大勢が雪合戦をしている
- ウ 雨で道がぬれている

解答：ア

補足：句中の「雪の朝」「足あとひとつ」「道つづく」が根拠。

五七五・季語の基礎

名前： _____

音数を数える

問1 音の数を答えなさい。
「はるのかぜ」は何音ですか。

解答：5音

補足：「は・る・の・か・ぜ」で五音。

問2 音の数を答えなさい。
「きゃくがくる」は何音ですか。

解答：5音

補足：「きゃ」は一音として数え、「きゃ・く・が・く・る」で五音。

五七五を見分ける

問3 五七五になっているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア はるのかぜ／かわべりをゆく／くさひかる イ はるのかぜ／かわをわたる／くさひかる ウ はるのかぜ／かわべりをゆく／くさがひかる

解答：ア

補足：アは五音・七音・五音。イの中七は六音、ウの下五は六音。

問4 七音になる言葉の一つを選び、記号を○で囲みなさい。
「夏の雲／_____／海ひかる」の空欄に入れると五七五になるものはどれですか。

ア 空を流れる イ 空流れる ウ 青い空

解答：ア

補足：「そらをながれる」は七音。

季語を見つける

問5 季語を抜き出さない。
「さくら咲く／校門くぐる／朝の道」

解答：さくら

補足：「さくら」は春の季語。

問6 季語を抜き出さない。
「せみの声／窓から入り／昼休み」

解答：せみ

補足：「せみ」は夏の季語。

季節を判断する

問7 季節の一つを選び、記号を○で囲みなさい。
「すすき揺れ／細道の先／日が沈む」の季節はどれですか。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

解答：ウ

補足：「すすき」は秋の季語。

問8 季節の一つを選び、記号を○で囲みなさい。
「こおり張る／水くみ場には／朝の月」の季節はどれですか。

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

解答：エ

補足：「こおり」は冬を表す季語。

切れ字と情景を読み取ろう

名前： _____

切れ字を見つける

問1 切れ字を抜き出さない。
「雪原や／遠くにのびる／木々の影」

解答：や

補足：「や」が切れ字。

問2 切れ字を抜き出さない。
「川風に／花散りにけり／水ひかる」

解答：けり

補足：「けり」が切れ字。

切れ字の働き

問3 最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「雪原や／遠くにのびる／木々の影」の「や」にはどのような働きがありますか。

ア 雪原を強く印象づけて句を大きく区切る **イ** 橋が動いていることを表す **ウ** 季節を冬に変える

解答：ア

補足：「や」は直前の「雪原」を強く印象づけ、そこで大きな切れを作る。

問4 最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「白い息／空へ消えゆく／日暮かな」の「かな」の働きとして最も適切なものはどれですか。

ア 日暮れの情景への感動や余韻を表す **イ** 白い息の音数を減らす **ウ** 季語を消す

解答：ア

補足：終わりの「かな」が感動や余韻を表している。

情景を読み取る

問5 句に合う情景の一つを選び、記号を○で囲みなさい。
「春の雨／傘にぼつぼつ／駅を出る」から読み取れる情景はどれですか。

ア 春の雨の中を傘をさして駅から出る **イ** 真夏の海で泳いでいる **ウ** 雪の中を駅へ走る

解答：ア

補足：「春の雨」「傘」「駅を出る」が根拠。

問6 句に合う情景の一つを選び、記号を○で囲みなさい。
「虫の声／草むら満ちる／帰り道」から読み取れる情景はどれですか。

ア 帰り道の草むらから虫の声が聞こえる **イ** 体育館で大きな笛が鳴っている **ウ** 朝の教室で鳥が飛んでいる

解答：ア

補足：句に書かれた場所と音をそのまま結び付ける。

心情を読み取る

問7 作者の気持ちとして最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「初雪や／手のひらに置く／ひとしずく」から読み取れる作者の気持ちはどれですか。

ア 初雪を手のひらに置き、その様子に心をひかれている **イ** 雪が降ったことに腹を立てている **ウ** 雪をすぐに片づけたいと思っている

解答：ア

補足：「初雪や」と切れ字を用いて初雪を強く印象づけ、手のひらに置いて見つめる様子から判断する。

問8 切れ字によって特に印象づけられている言葉を答えなさい。
「初雪や／手のひらに置く／ひとしずく」

解答：初雪

補足：「や」の直前にある「初雪」が強く印象づけられている。

俳句の鑑賞に挑戦

名前：

季語から情景を広げる

問1 季語を抜き出さない。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」

解答：秋の雨

補足：季節が明示された季語。

問2 句から読み取れる情景の一つを選び、記号を○で囲みなさい。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」から直接読み取れるものはどれですか。 ア 雨の中のベンチに赤い傘が残っている イ 子どもが赤い傘を差して走っている ウ 晴れた公園で傘を干している

解答：ア

補足：句に書かれている事実だけで判断する。

表現の効果を考える

問3 最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」で「赤い」と色を示す効果として最も適切なものはどれですか。 ア 雨の情景の中で傘の色をはっきり印象づける イ 季節を夏に変える ウ 傘の音を強く聞かせる

解答：ア

補足：色彩を示す語が視覚的な印象を強めている。

問4 「秋の雨」「ベンチ」「赤い傘」を使って情景を簡潔に説明しなさい。
「秋の雨／ベンチに残る／赤い傘」

解答：秋の雨の中で、ベンチに赤い傘が残っている情景。

補足：「秋の雨」「ベンチ」「赤い傘」の三要素が含まれていれば可。持ち主など句にない事情の断定は不要。

情景と心情を結び付ける

問5 切れ字を抜き出さない。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」

解答：や

補足：上五の終わりにある「や」が切れ字。

問6 「や」の働きとして最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」の「や」は何を印象づけていますか。 ア 朝霧の情景 イ 笛を吹く人の名前 ウ 校庭の広さ

解答：ア

補足：「や」によって直前の「朝霧」が強く印象づけられる。

ミニ鑑賞

問7 目と耳で感じ取れるものをそれぞれ答えなさい。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」

解答：目で感じ取れるものは朝霧、耳で感じ取れるものは笛の声

補足：「目＝朝霧」「耳＝笛の声」の対応が正しければ可。

問8 句全体の情景を四十字程度で説明しなさい。
「朝霧や／校庭わたる／笛の声」

解答：朝霧に包まれた校庭を笛の音が響き渡り、目に映る霧と耳に届く音が印象的な情景。

補足：「朝霧に包まれた校庭」と「笛の音が校庭をわたる様子」の二要素を含めれば可。笛を吹く人物や場所を根拠なく断定しない。

基本知識

問1 正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

俳句の基本的な音のまとまりはどれですか。 ア 五・七・五 イ 七・七・七 ウ 五・五・七

解答：ア

補足：俳句の基本形は五・七・五の十七音。

問2 音の数を答えなさい。

「きょうのそら」は何音ですか。

解答：5音

補足：「きょ・う・の・そ・ら」で五音。「きょ」は一音として数える。

季語・切れ字

問3 季語を抜き出し、季節も答えなさい。

「梅の花／小道に香る／朝の風」

解答：梅の花、春

補足：「梅の花」は春の季語。

問4 切れ字を抜き出さない。

「夏草や／白い校舎に／雲ひとつ」

解答：や

補足：「や」が切れ字。

情景読解

問5 最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「夏草や／白い校舎に／雲ひとつ」の「や」の働きはどれですか。 ア 夏草を強く印象づけて句を区切る イ 雲の数を増やす ウ 校舎の色を変える

解答：ア

補足：切れ字「や」は直前の「夏草」を印象づける。

問6 句から読み取れる情景を簡潔に答えなさい。

「秋の風／ノートを閉じる／放課後に」

解答：秋風を感じる放課後に、ノートを閉じている情景。

補足：「秋風」「放課後」「ノートを閉じる」のうち二要素以上を含めれば可。

鑑賞

問7 切れ字を含む句を一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 冬の星／消えない灯り／窓ひとつ イ 春風や／川辺に揺れる／白い花 ウ 虫の声／草むら満ちる／帰り道

解答：イ

補足：イには切れ字「や」がある。

問8 句の情景を四十字程度で説明しなさい。

「冬の月／足音遠く／門しずか」

解答：冬の月が照らす中、遠くから足音が聞こえ、門のあたりには静けさが漂っている情景。

補足：「冬の月」「遠くに聞こえる足音」「門の静けさ」のうち二要素以上を含めれば可。誰が歩いているかは断定しなくてよい。